

2025医療の最前線

授業料免除で人材確保

「ことですが、具体的にどのような状況なのでしょう？」

木本先生

今治市にある唯一の看護師養成機関、今治看護専門学校の入学者数が減少しているのが大きな問題です。定員80名に対して、現在は20名ほどしか入学していません。これでは地域医療を支える看護師が確保できず、病院では長期療養

用ベッドの削減を余儀なくされています。この半年だけで約150ベッドが減少しました。

記者

それは深刻ですね。何か具体的な対策を考えているのでしょうか？

木本先生

はい。来年4月から、3年間の授業料を全額免除する新しい取り組みを開始する予定です。これ

は全国でも初めての試みで、年間約50万円の授業料を免除する代わりに、卒業後3年間は今治市内の医療機関で働くという条件付きです。

記者

授業料免除は看護師志望者にとって大きな魅力ですね。この取り組みで看護師不足の解消につながることを期待していますが、どのような課題

がありますか？

木本先生

課題としては、免除資金をどう確保するかが大きなポイントです。地域全体で協力して支援を進めていく必要があります。また、看護師が働きやすい環境を整えることも重要です。この取り組みがうまくいけば、他地域のモデルケースにもなるでしょう。

記者

最後に、先生が感じている地域医療の未来についてお聞かせください。

木本先生

少子高齢化や人口減少に伴い、地域医療はこれからますます厳しい状況に直面します。しかし、今回のような新しい取り組みを地域全体で支えることで、未来を切り開いていくことができると思っています。今治市医師会としても、市民が安心できる医療体制を目指して全力で努力していきます。

少子高齢化や人口減少に伴い、地域医療はこれからますます厳しい状況に直面します。しかし、今回のような新しい取り組みを地域全体で支えることで、未来を切り開いていくことができると思っています。今治市医師会としても、市民が安心できる医療体制を目指して全力で努力していきます。

記者

木本先生、本日は貴重なお話をありがとうございました！



新生児マススクリーニング検査
先天性代謝異常等検査とは

先天性の病気を早期発見

赤ちゃんの先天性代謝異常などの病気を早期に見つけるための検査。病気を見逃すと神経障害や生命にかかわる障害を引き起こす可能性があるため、検査で早期診断・治療することで障害の発生を予防することを目的としています。検査は任意ですが、日本ではほぼ100%の赤ちゃんが受検しています。



▲今治看護専門学校の入学者は大きく減少